

助成活動実績報告書

企画名	今の暮らしを見直し、環境にやさしい暮らしを広めよう！
団体名	おかやまコープ井笠エリア委員会

①活動の目的について

暮らしを見直すという視点から、まず、身近なマイバッグをテーマに取り上げ、おかやまコープ全体の持参率は73.3%となっているなか、啓発活動やマイバッグコンテストなど実施し、さらに持参率の向上を目指します。また、リサイクルやゴミ問題をテーマにした学習会の開催や、井笠エリア内の自治体のリサイクルやゴミの出し方の調査、比較を行うことでゴミ削減を進めます。そして、身近な海の「瀬戸内海」にも目を向け、海ゴミの現状や漁業の状況を観察するなど、私たちの暮らしとの関わりを学びます。

②内容について（学習会、集会などは開催日や内容、参加者数など。設備・物品購入などの発注、納品、竣工、支払いなどの案件に関わる事実の掲載）

・マイバッグ：マイバッグコンテスト...

8月1週のウィークリーコープで募集呼びかけ

9月1週のウィークリーコープで再度呼びかけ

8月3日～9月25日マイバッグ募集期間

9月4週ウィークリーコープでコンテスト案内

10月6日～19日コープ鴨方店内に展示し、シール投票によるマイバッグコンテスト実施

11月24日エコカフェで上位5名を表彰

※マイバッグ応募29名、シール投票参加者213名

・マイバッグ啓発チラシ・ポスター作成...チラシ1000枚作成、ポスター20枚作成

11月13日コープ鴨方店内でチラシ配布しながら呼びかけ

ポスターはコープ鴨方店内だけでなく、井原・笠岡各センターにも掲示。チラシは配送トラックに掲示し、コープ委員会にも配布

・エコカフェ...11月24日開催、参加者大人35名・子ども8名・計43名

内容：マイバッグコンテスト表彰式

講演：「地球って大丈夫!? 南極から見えてくるもの」

講師 国立極地研究所 堤雅基准教授

鶏ムネピザの試食をしながら交流

・三市による家庭ゴミ減量化シンポジウム... 2月 12 日開催

参加者 41 名、行政より参加 4 名

内容：笠岡市から「燃えるゴミについて」年間のゴミ処理費用や市民のゴミに対する意識の把握状況、ゴミ処理の流れなど浅口市から「燃えないゴミ、小型家電リサイクルについて」燃えないゴミの処理の流れや不正業者への注意啓発、小型家電リサイクルの回収場所のお知らせ等、井原市から「家庭でできる地球温暖化対策」マイバッグ持参運動や電気ダイエット、クールチョイス等。各市での取り組みの紹介も。

・シンポジウムの事前学習としてエリア内のゴミ処理場見学

1月 18 日里庄清掃工場、笠岡リサイクルプラザ見学

1月 29 日井原クリーンセンター見学

※海ゴミ観察～船に乗って GoGo! ～7月 29 日開催予定でしたが、台風のため中止

③この活動によって達成された成果

・マイバッグコンテスト... 応募のマイバッグに加え、新聞エコバッグや手作りギフトバッグも展示。展示場所も入り口付近で見やすく、多くの組合員に参加してもらえ、啓発につながった。実際に日頃使っているマイバッグが展示してあるので、自分のマイバッグ選びの参考になったとの声も多かった。

・エコカフェ... マイバッグ持参運動の一貫として取り組んでいるマイバッグコンテストの表彰式をたくさんの方の前で行うことで、大人だけでなく子どもも意識が高まったように思う。

南極の自然環境や調査、研究されていることを映像を見ながら話を聞くことで、環境保護の大切さなどしっかり学習できた。実際に南極の氷に触れ、音を聞くことができ、また動物の話も織り交ぜてくださったこともあり、南極を遠い世界のことでなく、子どもにも少し身近に感じる事ができたようだ。日本人に需要の低い鶏ムネのレシピをお知らせし、偏りの少ない消費がエコにつながることも意識してもらえた。

・三市による家庭ゴミ減量化シンポジウム...

改めて一市民として自分たちがどうすべきか、何ができるのか、考え理解できた。“生ゴミ3キリ運動”や“食べきりげんまんプロジェクト”“4R”など具体的に今日からすぐにできることを市の方がはっきり提示してくれた。処理費用についても具体的かつわかりやすく示してもらえたので、自分のこととして考えることができた。小型家電リサイクルや地球温暖化対策についても各市から具体的な話が聞けたので、自分が実践するだけでなく、広めていきたい。

・エリア内ゴミ処理場見学...

ゴミ処理の現場を実際にみることで、“ゴミステーションに出したら終わり”ではないことを実感できた。見学した内容を広くお知らせしたいし、学校からよく見学に行っている子どもよりも本来は私たち大人がまず見学すべきだと感じたので呼びかけていきたい。

④今後の計画・展望について

・マイバッグ持参にむけての啓発活動は継続して行う。

・環境について考える機会として、エコカフェは内容を検討し、次年度も開催する。

・今年度エリアメンバーのみで行ったゴミ処理場見学はとてもよい内容だったので、組合員にも呼びかけ、広めていきたい。